

税について今思う事

学校法人今治明德学園今治明德中学校 2年 奥津 音乃

ここ近年で消費税が十パーセントに増加された。私は、買い物をする度に、消費税が増えて少し値段が高くなって、いやだなと思っていた。また、何のために消費税を払わなければならないのか、本当に増税は必要なのか、疑問に思っていた。そんな時、ある人から聞いた話がある。

その人は、双極性障害という精神疾患を持っている。この病気をわずらってから、その人は気持ちが落ちこみ、食事や睡眠、お風呂などが何もできなくなった。生きていくことがとても辛かったそうだ。精神科に通院することになったものの、診察と薬の必要費用として、高額な医療費を支払わなければならない、その人にとってはかなり負担になったそうだ。そんな時、その人は、自立支援医療という制度を主治医から教えてもらった。

自立支援医療制度とは、心身の障がい除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担を軽減する制度である。一般的に、医療費は三割負担であるが、この制度を使うと、医療費は一割負担になる。

この制度のおかげで、その人は高額な医療費を支払う必要がなくなり、治療を前向きに受けられるようになったそうだ。

精神疾患は、内科的な病気と異なり、長期にわたる治療が必要だ。適切な治療を受けるには、根気強く治療を受ける必要があり、それには多くのお金が必要である。そのお金のほとんどを、税金でまかなわれていると知り、私は自分が払っている税金が、誰かの役に立っていると思うと嬉しくなった。

これからの日本は、色々な人が共に生きる社会になると考えられる。例えば、介護の必要な人など、精神疾患を持っている人に限らず、様々な事情をかかえている人はたくさんいる。私は、今回の話を聞き、必要な人に適切なお金が配分されるべきだと思った。

しかし、私が最初に思ったように、何のために税金を払わなければならないのかと思っている人は少なくないと思う。それは、何のために税金が使われているのかわかっていないからだと考えられる。税金は、社会の中で必要としている人々に使われている。そのことを、たくさんの人々に知ってもらい、理解してもらう必要があるのではないだろうか。

今後、私や家族が、自分たちではまかなうことができないような病気になったり、災害に遭うかもしれない。何が起ころうとも安心して暮らすことができるというのは、とても幸せなことであると私は考える。そのためにも国民一人一人がしっかり納税の義務を果たさなくてはいけないと思う。税金をただ支払うだけでなく、その税金がどのように使われているかについて、いつも関心を持たなくてはいけないのではないだろうか。